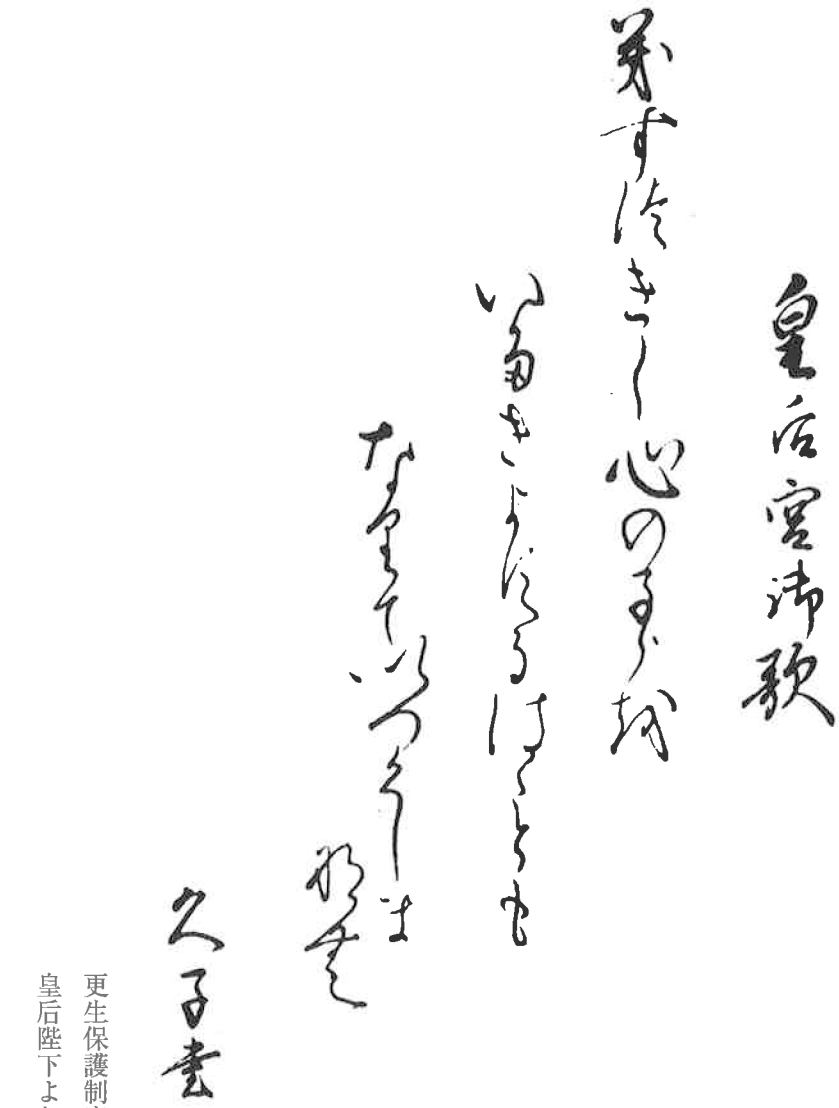
島根県更生保護女性連盟
結成60周年記念誌

島根県更生保護女性連盟



皇后宮御歌

きずつきし心の子らを
いだきよする　ははとも
なりていつくしまなむ

久子書

更生保護制度施行十周年にあたり昭和三十五年九月
皇后陛下より更生保護関係者に賜った御歌

謹書　島津久子

更生保護女性会綱領

1　私たちは 一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会をめざします

1　私たちは 更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と提携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります

1　私たちは 知識を求め自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動します

令和３年度島根県更生保護女性連盟理事



海士地区　上田　正子
隠岐地区　佐々木幸子
鹿足地区　中村　俊子
邑智地区　富永富久恵
大社地区 常任理事　川上　清子
佐田地区 常任理事　杉山　悦子
出雲地区　嘉藤　馥美
平田地区　大谷　民子
飯石地区　前田　榮子

益田地区 常任理事　宮川　公子
大仁地区　藤原美紀子
宍道地区　野津千洋子
玉湯地区　板谷　裕子
八雲地区　堀江　久世
八束地区　渡部天津子
島根地区　小川美知子
美保関地区　小川久美子
伯太地区　為国　角
広瀬地区　岡崎　憲枝
安来地区 常任理事　山﨑　光恵

浜田地区 元副会長　髙木禮爲子
斐川地区 元副会長　江角　佳子
鹿島地区 副会長　中島　和子
松江地区 副会長　青木　薫代
江津地区 会長　山脇　里美
松江保護観察所　西江　尚人 所長
松江保護観察所　長谷川寛之 企画調整課長
松江保護観察所　上谷　淳子 保護観察官
東出雲地区 前会長　板倉　靖子
多伎地区 元副会長　柳樂　利子

感謝状

島根県更生保護女性連盟 殿

貴団体は多年にわたり更生保護活動や犯罪予防活動に従事し本県の福祉と安全な社会の実現に寄与されその功績は誠に顕著でありますよってその功績を称え深く感謝の意を表します

令和四年二月二十一日

島根県知事　丸山　達也

感謝状

島根県更生保護女性連盟殿

あなたは美保学園の施設運営に深い理解を寄せられ永年にわたり在院者の改善更生に献身的に尽力されましたその功績は誠に多大でありここに深甚の謝意を表します

令和三年三月十二日

法務大臣　上川陽子

感謝状

島根県更生保護女性連盟　殿

貴連盟はかねてから更生保護に深く思いを致され社会奉仕の精神に徹して更生保護事業の伸展に多大の寄与をされました愛の図書贈呈活動が第六十一回を迎える本年その御苦労に対し感謝の意を表します

令和四年二月二十一日

松江保護観察所長　西江尚人





島根県更生保護女性連盟
結成60周年記念大会開催要項

1 趣　旨

島根県更生保護女性連盟は、昭和36年3月の結成以来、本年で60周年の節目を迎えました。この間、私たち更生保護女性会員は、関係団体と連携しつつ女性の立場で更生保護事業に協力し、次世代を担う子ども達の健やかな成長を願い子育て支援活動等を推進し、誰もが心豊かに生きられる明るい社会作りに大きな役割を果たしてきました。

昨今、社会の耳目を衝動させる事件が後を絶たず、犯罪や非行の手口、犯罪や非行に陥った人達の改善・更生に社会の関心が高まっています。犯罪・非行の背景として、少子高齢化、IT技術の急激等の社会状況の変化、価値観の多様化、規範意識の低下、更に未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大等により、社会の営みは大きく変化し、地域住民同士のふれあいや親子の対話が減るなど人と人とのつながりが希薄になったこと等があげられます。私たちの活動もまた様々な制約や変化を迫られてきました。

このような社会情勢の中で、女性が積極的に地域活動に参加し補正し活動を展開することにより、希薄となった地域の連帯や家族の絆を取り戻し、犯罪や非行のない明るい地域作りに努めることが今まで以上に期待されています。

そこで、傾下の更生保護女性会員が相集い、連盟結成60周年の記念大会を開催し、更生保護女性会の意義を再確認し、意識の高揚を図り、時代の要請に対応すべく更生保護女性会の活動の一環の充実・発展を期そうとするものです。

2 期　日　令和4年2月21日（月）10時～14時

3 会　場　サンラポーむらくも
松江市橋町309番地　TEL 0852-21-2870

4 主　催　島根県更生保護女性連盟

5 後　援　松江保護観察所、島根県保護司会連合会、更生保護法人しらふじ
島根保護観察協会、島根県BBS連盟

結成60周年記念式典

日　付　令和4年2月21日(月)
会　場　サンラポーむらくも

島根県更生保護女性連盟



式次第

10:00～12:00　開式の言葉
国旗の宣「御歌」斉唱
更生保護女性会綱領唱和
会長あいさつ　山脇 保美

来賓祝辞
島根県知事　丸山 達也 様
島根県保護観察所所長　西江 尚人 様
島根県保護司会連合会会長　井谷 博造 様
島根県保護観察協会理事長　佐目 誠 様
更生保護法人しらふじ理事長　大野 典枝 様
島根県BBS連盟　春日 智恵 様

来賓紹介

祝電披露

表　彰
美保学園より法務大臣感謝状
永年役員へ感謝状

閉式の言葉

研修会
パネルディスカッション
松江地区・飯石地区・江津地区・益田地区代表
アドバイザー　西江 尚人 様

12:00～13:00　昼　食
各地区活動スライドショー上映

13:00～14:00　講　話
演　題「地域応援活動が教えてくれたもの」
講　師　元TSKアナウンサー　石原 美和 様

表彰者
連事在任 20年　上田　玉子（海士地区）
15年　勝栗　有子（多伎地区）
中島　和子（隠岐地区）
高木 禮昌子（浜田地区）
10年　江角　佳子（斐川地区）
大谷　民子（平田地区）
後倉　靖子（東出雲地区）
会長・副会長経験者
縫落　章恵・（故）石田 キミ子・野坂　節子



結成60周年を迎えて
～歩みを止めることなく～

島根県更生保護女性連盟
会　長　山　脇　里　美

島根県更生保護女性連盟が結成60周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

人間で言えば還暦に当たる年齢であり、節目の年であるように思います。現在に至るまで、先人たちの築き上げて来られた「愛の募金」を始めとした様々な更生保護活動を無事引き継ぐことが出き、うれしい限りです。これも長年にわたって温かくご支援いただきました松江保護観察所はじめ、保護司会、島根保護観察協会、会員の皆様、多くの方々のお蔭と心から感謝申し上げます。

この原稿を執筆している現在、私達は未曽有の危機に見舞われています。オミクロン株新型コロナウイルス感染症の拡大です。近年「経験したことのない」という言葉を猛暑や豪雨などに使うようになりましたが、まさに人類が「経験したことのない」コロナ禍に更女の活動も随分と制約を受けています。結成60周年記念事業も一部変更を余儀なくされ、27地区の更生保護女性会も試行錯誤しながら、綱領を指針として歩みを止めることなく、先へ進んで行こうとしています。

ところで、県更生保護女性連盟の歴史を紐解いてみると、スタート時の会員は700名。島根更生保護女性連盟の中心的な活動「愛の図書寄贈運動」のはじまりは、家にある古本を持ち寄り５～６年寄贈していたとあります。その後、募金に切り替え新刊本を、そして現在図書券での贈呈になりました。今後もこの活動が永く継続できるように願っています。

また、令和の時代に入り、ＩＴ技術の進展で、教科書も紙ベースからデジタル化されつつあります。節目の年と申しましたが、県更女でもＩＴ時代に入りＰＣの設置・テレビ会議・立ち直り応援基金の申請等新時代に対応しているところです。

しかしながら、どんなに時代が変わろうとも、綱領の指針を忘れず、ミニ集会や社会を明るくする運動などによる犯罪予防活動、子育て支援や青少年の健全育成、そして犯罪や非行に走った人の立ち直りの支援活動などに力を注ぎたいと思います。いつでも更生保護ボランティアとして、安全・安心の社会の実現に女性の力や「ほっとけない精神」を発揮して、更女活動の一層の充実を図りましょう。



あいさつ

松江保護観察所
所　長　**西　江　尚　人**

島根県更生保護女性連盟60周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げるとともに、この時に立ち合えたことを大変うれしく思っております。個人的には、平成26年・27年の２年間、当時企画調整課長として島根更女の皆様とご一緒させていただいており、その分感慨も一入です。

さて、私が皆様方とご一緒させていただく中で、皆様方の活動を表現するお気に入りのフレーズがいくつかあります。それらは、「ほっとけない精神」「しなやか」「あふれる笑顔」の３つです。ここで改めて「しなやか」の意味を辞典で調べてみますと、「弾力があってよくしなうさま。動きや様子がなめらかで柔らかなさま。姿態などがなよなよして上品なさま」等書かれております。地域で生じた困りごと、普通であれば黙認してしまいがちなことなど、時に痒いところにまで手の届く活動は、まさに「ほっとけない精神」であり、それらを「しなやかに」かつ「あふれる笑顔」で取り組まれてきた様子が、次々と目に浮かんできます。

折しも、60年の節目を迎えたこの時、念願とも言える「再犯防止推進計画」の策定が、各市町村にて続いています。これは、更生保護女性会をはじめとする更生保護関係者と地方公共団体、さらには国との３者を結ぶ架け橋とも言えるもので、これまで半ば人と人との繋がりに依拠していた３者の連携が、正式に書面として明文化されていくことは、とても意義深く画期的なことと言えます。

昨今はコロナ禍にて、少なからず活動を制限せざるを得ない状況にもありますが、地域の安全・安心のためにも、再犯防止推進計画を追い風に、前述の３つのフレーズが行き交う躍動感溢れる活動をいただけるよう、引き続き観察所一丸となって全力で支援していく所存です。

終わりに、島根県更生保護女性連盟のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を心より祈念して、御挨拶及び御祝いの言葉といたします。



祝　辞

日本更生保護女性連盟
会　長　千　葉　景　子

島根県更生保護女性連盟が60周年を迎えられますこと、心からお慶び申し上げます。半世紀を超える長きにわたる間には、楽しく喜びとやりがいを感ずることも多かったと思いますが、他方では困難や壁に直面することもあったかと思います。そんな道のりを歴代役員のみなさまと会員のみなさまが乗り越えながら活動を続け今日に至っておられますことに心から敬意を表するところです。

さて、島根と言えばPFI手法による刑事施設として島根あさひ社会復帰促進センターが運用されています。私もこの制度化について幾ばくか関わり、また視察もさせていただいた経緯もあり、いつも気に留めております。更女のみなさまにとっても、もちろんご縁の深い施設であろうと思います。矯正施設ではあるもののその後の社会復帰、自立がスムーズに行えるようにとの考え方が根底になっているものです。その意味で矯正から保護、そして社会へと一連の形でつながるスタートの場といってもよいかと思います。地域のボランティアとしての更女の活動はそんな生きづらさをかかえながらも生き直そうとする人々を“ほっとけない”の心で、寄り添い、誰もが社会の一員として生活できることを願う女性たちによってつながれてきました。だからこそ、生きづらさや孤独に生きる人々を支える地域の力が必要とされる現在、更女が頼りにされ、多くの活動が連携を求められるなかでの中心的な役割を担うことが期待されるのです。そんな折、私たちはコロナ禍に見舞われました。人と人との繋がりが如何に大切であるかを痛感させられることにもなりました。でも密をさけるため繋がることができないもどかしさ。

島根県更女のみなさまも、60周年を機に次へのステップをと決意を新たにされていたところだと思います。あせることなく、知恵を出し合い、考え、明日へつながる活動を見つけ出していただくことを願います。

島根県更生保護女性連盟の今後の発展を祈念いたします。



結成60周年を祝して

島根県知事　**丸　山　達　也**

島根県更生保護女性連盟の結成60周年を、心からお慶び申し上げます。

皆様方は昭和36年の発足以来、罪を犯した人や非行のある少年に対し、深い愛情と社会奉仕の精神を持って献身的な活動を続けられ、地域社会の犯罪の未然防止に尽力してこられました。皆様方の社会奉仕の活動に対し、心から感謝を申し上げますとともに深く敬意を表する次第であります。

昨今の状況を見ますと、刑法犯認知件数は減少化傾向にありますが、検挙者数に占める再犯者の割合は増加傾向にあり、県内の更生保護を巡る情勢は依然として厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえ、県では昨年６月に「島根県再犯防止推進計画」を策定し、誰もが地域社会の一員として生活することのできる安全で安心な社会が実現できるよう、再犯防止対策にかかる取組をより一層進めていくこととしました。

地域に更生保護の土壌を創りあげるためには、関係する機関・団体、そして県民の皆様が一体となって、継続的な取組を進めていく必要があります。

県といたしましては、更生保護の諸活動がより一層充実するよう関係機関や団体、地域住民の皆様との連携を強化し、地域社会における更生保護制度に対する理解の促進や効果的な施策の推進に取り組んでまいります。引き続き、島根県更生保護女性連盟の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに島根県更生保護女性連盟の今後の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



60周年記念誌の発刊を祝して

中国地方更生保護委員会
委員長　西　岡　総一郎

島根県更生保護女性連盟が結成60周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことを、心からお喜びを申し上げます。

島根県の更生保護女性会は、27地区会、約2,400人の会員を擁し、関係機関・団体との緊密な連携のもと、地域に密着した活動を展開されており、その実績は高く評価されています。

コロナ禍にあって、更生保護施設「しらふじ」に手作りマスクを、幼稚園、保育園や小・中学校に除菌液や石鹸を届けていただきました。昭和36年に貴連盟が結成されて以来毎年続けてこられた「愛の図書」の贈呈は、令和3年に61回目を迎えました。本を読む楽しみ、喜び、感動を届け、人を思いやる心、生きるチカラを培うこの活動は、会員の皆様による「愛の募金」活動に支えられており、図書カードが県内の更生保護施設、矯正施設、児童自立支援施設、児童相談所や女性相談センターに寄贈されました。

こうした活動では、更生保護女性会の「ほっとけない」の精神とボランティア活動ならではの機動性・しなやかさがいかんなく発揮されており、広く地域住民や地元企業の皆様の理解・協力を得ていることが特徴です。地域づくり・まちづくりに貢献し、更生保護の心を広め根付かせる大きな力になっているものと心強く思います。皆様の御尽力に心より敬意を表し、感謝申し上げます。

テクノロジーが急速に進展し、長寿時代を迎えた現代、親密で豊かな人間関係が私たちの生活や人生においてかけがえのないものであることに変わりありません。皆様におかれましては、今後とも「ほっとけない」の精神で、人々の孤立を防ぎ、世代間の交流を促し、笑顔あふれるコミュニティづくりに貢献する活動を続けていただきますよう念願申し上げます。

終わりに、島根県更生保護女性連盟と県内の更生保護女性会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



県連盟結成60周年をお祝いして

中国地方更生保護女性連盟
会　長　藤　田　萬喜子

島根県更生保護女性連盟が結成60周年を迎えられた事、まことにおめでとうございます。

昭和36年結成以来60年の長きに渡り、更女活動に尽力されて来られた諸先輩の会員の皆様に深い敬意を表しますと共に、県内各地それぞれの地区会に置いて、一隅を照らす活動を展開されて来られた会員の皆様に心からお祝い申し上げます。

還りみますと60年の歴史は、目まぐるしく変わる社会状況の中で、それぞれの地域において、「立ち直りの支援」「安心安全の街作り」に続いて「子育て支援」「再犯防止」の目標を持って、地域のニーズをくみ取り、「地域の力」として、多彩で幅広い活動を、女性ボランティア団体として献身的に展開されて来られた事と存じます。

長い年月をかけて、地道に継続して実践されたこれら更女の支援活動の一つ一つの積み重ねが、県にとっても大切な団体と信頼を得て居られることを、共に慶びたいと思います。

「継続は力成り」の諺のごとく70周年、100周年を目指し、地域の力を結ぶ中心となって、行政や他団体、多くの人と幅広く交流し、人にやさしく寄り添える活動の続く事を願い、島根県更生保護女性連盟のより一層のご発展を心から祈念申し上げお祝いの言葉と致します。



ともに更生保護を歩んで

島根県保護司会連合会
会　長　井　谷　耕　造

ここに島根県更生保護女性連盟が60周年の節目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。この間貴団体の結成より今日まで献身的に支えてこられました数多の役員各位及び会員の皆様に対し万感の敬意と拍手をお送りいたします。

さて、令和元年10月7日東京フォーラムにおいて更生保護制度施行70周年記念全国大会が挙行されましたことは皆様の記憶に新しいところではございますが、その後世界的なコロナウイルス禍によりまして令和２年度以降全国的にも我島根県におきましても著しく活動が制限される事態となりました。

これにより代表的な更生保護事業「社会を明るくする運動」を始め各団体の総会、研修会が延期若しくは縮小開催を余儀なくされ現在に至っております。

ここに来てオミクロン株の蔓延が心配されるところではございますが、全国的にも小康状態にあると考えますときに活動再開の兆しが感じられますことは喜ばしい限りです。

ところで、昨今犯罪数及び保護観察件数ともに減少してまいりましたが、一つ一つの事件内容がより一層複雑化する傾向にあります。さらに、コロナ禍による雇用状況の悪化等により安定した生活を損なう懸念が生じます。

このような社会現象の中において犯罪や非行を未然に防止する活動に対しまして更生保護女性会の皆様の活動が大きな影響を及ぼすものと期待しております。保護司の定数のおよそ５倍の女性会の皆様のお力がコロナ禍の中でも大きな抑止力となることを確信します。

また、昨年６月島根県におかれましても「再犯防止推進計画」が制定され、島根県の更生保護事業の一層の充実が図られることと確信いたします。

ＳＤＧｓの考えに則った「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、更生保護女性連盟、ＢＢＳ連盟、更生保護法人連盟、就労支援事業者機構及び私たち保護司連盟が手を携えて更生保護活動の一層の充実を図りたいと存じます。



更生保護女性連盟 60周年記念誌発刊を祝して

島根県ＢＢＳ連盟
会　長　春　日　智　徳

この度、島根県更生保護女性連盟60周年を迎えて記念誌を発刊されますことに心よりお喜び申し上げます。

60年に渡り取り組まれた「愛の図書寄贈運動」を中心に、誰もが安全で安心して暮らしができる明るい社会づくりに向けての数多くの更生保護活動に深く敬意を表します。

また、県内地区会におきましては、未来を担う子ども達が心豊かに育つよう、挨拶運動や見守り活動、小学校などでの読み語りといった更生保護活動に日々ご尽力されている皆様には頭の下がる思いです。

私たちのＢＢＳ活動におきましても、更生保護女性会の皆様には度々ご協力頂きました。私たちにとって皆様は心強く、そして温かく包み込んでくれる母親のような存在です。

きっと、罪を犯した人や非行のある少年も同じようなぬくもりを感じている事と存じます。

おわりに、本記念誌の発刊が更生保護活動発展の一助となります事を祈念いたしますとともに、関係各位の一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げてお祝いの言葉と致します。



発刊を祝して

更生保護法人しらふじ
理事長　大　野　美　雄

島根県更生保護女性連盟様がこの度60周年をお迎えになられましたこと、衷心よりお慶び申し上げます。更生保護という果てのない事業に、一方ならぬご熱意をもって組まれているお姿に、満腔の敬意を表します。

そして、しらふじにいつもお心を寄せて頂き、深甚なる感謝を申し上げます。そもそも更生保護施設を帰住先として仮出所する人は、何度もなんども刑務所等の矯正施設に出入りし、親兄弟、親戚、知人等の引受人がなく、止むを得ずしらふじに来るという処遇困難な人が殆どです。幼い頃から温かい家庭を知らず、親の愛情も受けずに成長した人が多く、更生保護女性会様の物心両面にわたるご支援は、利用者にとって海よりも深い母親の愛情を感じる唯一のオアシスでもあります。

しらふじは明治44年の事業開始以来、110年の星霜を閲してきました。その間幾多の困難に遭遇しながらも、更生保護女性会様をはじめ、その都度心ある人々に支えて頂き、罪を犯した人々の更生改善の最後の砦としてその使命を担ってまいりました。

また、しらふじは収容定員20名、100パーセント民間の施設です。平均在所期間は約70日で、その間衣食住を提供し、改善更生プログラムに甚づいて生活指導し、協力層用主の事業所で働かせていただき、自立のための資金を蓄えて行きます。多くの利用者が勤労の尊さを知り、感謝して社会へ復帰して行きますが、中には再び罪を犯す人がいるのもまた現実です。多くの人が更生の手を差し伸べているにもかかわらず、報いることもなく逮捕の知らせを聞くと、徒労感と脱力感を抱くこともあります。しかし、それでも人は何時かは変われると信じて、施設長以下８人の職員がまことに士気高く、日々の職務に精励しています。

経営的に大変厳しいものがありますが、お蔭さまで多くの人々の善意に支えられて今日まで来ました。皆様のご理解をいただきながら、今後もその使命を果たし続けていく所存です。この上共にお力添えを賜りますようお願い申し上げ、祝辞とさせていただきます。


母親の願いのこもった白藤



島根県更生保護女性連盟
結成60周年記念誌発刊を祝して

島根県更生保護女性連盟
元会長　鐘　築　章　恵

この度「島根県更生保護女性連盟結成60周年記念誌」が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。また、記念誌編纂にご尽力されました皆様のご苦労に心から敬意を表します。

本連盟は、昭和36年3月に結成され、以来、更生保護事業に協力しながら、「非行のない明るい社会の実現」「子ども達の健やかな成長」を願い、活動を継続してきました。

会長を引き受けました時、経験の浅い私は、県下の活動状況が知りたいとの思いで、「機関紙発刊」や「親睦を深める研修会の実施」を理事会に提案し、了解を得ました。

機関紙は、素晴らしい編集委員の皆様により立派な「県更女しまね」が7号まで発刊され、地区の活動や研修報告等多彩な内容が載せられております。

研修会は隔年で一泊研修を実施し、第1回は、平成26年1月20・21日の大雪の中での研修でした。春雨や落雷師匠の落語と健康講演を楽しんだ後、情報交換や課題についての熱心な話し合いが続きました。夜の交流会では、更生保護の精神そのものの歌「愛をみんなで」を合唱するなど大いに親睦を深めることができました。第2回目は平成28年1月、第3回目は、平成29年9月に中国地方更生保護女性連盟研修に併せて実施しました。どの回も他の地区会の様子がとても参考になったと、評価をいただきました。

また、各地区女性会に「3組の紙芝居」を配ったことも思い出です。ある研修会で紙芝居を使った素晴らしい実践発表を聞き、是非島根県に導入したいと、松江保護観察所を通じて複製の許可を得ました。それからが大変。松江保護観察所の尽力を得て、全て手作り。500枚の絵と文章を貼り合わせる作業が続きました。出雲児童相談所の専門官から「子どもの発達課題とその対処の仕方が述べられた素晴らしい紙芝居。そのことをよく理解し実践してほしい」と助言を受けました。

最後に、結成60周年を機に、本連盟の益々のご発展、会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



記念誌発刊によせて

島根県更生保護女性連盟
前会長　板　倉　靖　子

島根県更生保護女性連盟結成60周年、おめでとうございます。

昭和36年3月31日、先人の皆様の篤い願いによってうぶごえを上げてから、数多くの女性の温かい心によって、更生保護活動が受け継がれ続けた60年の歳月に、頭の下がる思いがいたします。「犯罪や非行のない明るい社会の実現」に役立ちたいという会員の皆様の思いが、地域のともし火となり、今日を迎える力となったこととお慶び申し上げます。

私自身の更女との関りは、夫の母が7月の暑い日差しの中、日傘をさして「愛の募金活動」に近所を一軒一軒回られる姿を目の当たりにしたことに始まります。更生保護の心をひとりでも多くに方に理解してもらうことが大切だから、と言っておられた姿は、今も脳裏に焼き付いています。

今私たちは、会員の減少や高齢化、生活環境の変容、大きく変貌した社会情勢等々、様々な課題と向き合っています。結成40周年記念誌に、初代と3代の会長を勤められた茨崎綾子様が、更生保護婦人会結成の経緯について寄稿なさっています。その一部をご紹介いたします。60年前に設立を決意された皆様の尊い思いは、今後の活動の示唆となるかもしれません。

> 昭和29年7月、全国の婦人保護司代表が東京旧赤坂離宮に集まり、いろいろ協議した中の一つに、当時だんだん問題視されるようになって来た青少年の犯罪非行を防止するために、私共母親の愛情を結集して、各府県毎に更生保護婦人会を組織してお役に立てようではないか、たとえ人数は少なくとも、会の趣旨をよく理解し共鳴してくれる人により、強制的でなく進んで入会してもらうことが大切ではあるまいか。（中略）目的をよく理解すると共に、大きな意味の母性愛に満ちた人ならば大歓迎であるという話し合いに到達したのである。

これからも更女活動を続けていくために、設立当時の皆様の思いに立ちかえり、「会の趣旨をよく理解し共鳴してくれる人」に会員ひとりひとりが、そのバトンを渡していく必要があるのではないかと思います。そして、更女活動の読み聞かせで触れ合った子供たちや、「愛の図書」を読んで育った地域の子供たち、三者連携で更女の活動に理解を深めてくれたＢＢＳ会員の学生さんが、将来、更女会員として活躍してくれる日が来るといいな…と、私は淡い願いを抱いています。

今後70年、80年…島根県更生保護女性連盟の益々のご発展をお祈りし、お祝の言葉といたします。

60年のあゆみ
（昭和36年～令和３年）

歴代会長

	会長名（地区名）	在任期間
初　代	荻崎　綾子（松　江）	昭和36年３月～昭和44年
2　代	尾崎多満子（浜　田）	昭和44年　　～昭和49年
3　代	荻崎　綾子（松　江）	昭和49年　　～平成３年６月
4　代	中島富貴子（益　田）	平成３年６月～平成９年６月
5　代	江角　あき（斐　川）	平成９年６月～平成21年６月
6　代	尾崎　修子（江　津）	平成21年６月～平成25年５月
7　代	鐘築　章恵（出　雲）	平成25年５月～平成29年９月
8　代	板倉　靖子（東出雲）	平成29年10月～令和２年７月
9　代	山脇　里美（江　津）	令和２年７月～現在

60年間の会員数・地区会数の推移

	【会員数（人）】	【地区会数】
昭和36年（1961）　結成	700	7
＊３月「島根県更生保護婦人会」として		
昭和46年（1971）　結成10周年	1,934	18
昭和56年（1981）　結成20周年	1,995	20
平成３年（1991）　結成30周年	2,452	20
＊平成９年　更生保護婦人会「綱領」の制定		
＊平成11年「島根県更生保護婦人連盟」に改称		
平成13年（2001）　結成40周年	2,762	21
＊平成15年「島根県更生保護女性連盟」に改称		
平成23年（2011）　結成50周年	2,813	29
＊令和元年　更生保護制度施行70周年		
令和３年（2021）　結成60周年	2,378	27

役員名簿
(平成 24 年～令和 3 年)

	会　長	副会長	常任理事	監　事	事務局
平成 24 年度	尾崎　修子（江　津）	柳樂　利子（多　伎） 書記兼務 中島　和子（鹿　島） 会計兼務	昌子　薙江（広　瀬） 陶山　和實（松　江） 鐘築　章惠（出　雲） 久我　俊子（大　仁） 村上　幸子（鹿　足）	永見　正子（江　津） 波多　彰代（海　士）	
平成 25 年度	鐘築　章惠（出　雲）	江角　佳子（斐　川） 髙木禮爲子（浜　田）	昌子　薙江（広　瀬） 永田　典子（美保関） 石川　咲子（玉　湯） 和田智恵美（佐　田） 村上　清子（大　社）	糸原　裕子（広　瀬） 田中百合子（益　田）	会計 石川　潤子（出　雲） 書記 杉山　悦子（佐　田）
平成 26 年度	鐘築　章惠（出　雲）	江角　佳子（斐　川） 髙木禮爲子（浜　田）	昌子　薙江（広　瀬） 永田　典子（美保関） 石川　咲子（玉　湯） 和田智恵美（佐　田） 村上　清子（大　社）	糸原　裕子（広　瀬） 田中百合子（益　田）	会計 石川　潤子（出　雲） 書記 杉山　悦子（佐　田）
平成 27 年度	鐘築　章惠（出　雲）	板倉　靖子（東出雲） 有田キミ子（鹿　足）	渡邊　慶子（伯　太） 倉橋　裕子（飯　石） 上田　正子（海　士） 和田智恵美（佐　田） 野田　律子（邑　智）	陶山　和實（松　江） 太田由美子（東出雲）	会計 石川　潤子（出　雲） 書記 杉山　悦子（佐　田）
平成 28 年度	鐘築　章惠（出　雲） 〈顧問〉 尾崎　修子（江　津）	板倉　靖子（東出雲） 野田　律子（邑　智）	渡邊　慶子（伯　太） 倉橋　裕子（飯　石） 上田　正子（海　士） 和田智恵美（佐　田）	陶山　和實（松　江） 太田由美子（東出雲）	会計 石川　潤子（出　雲） 書記 杉山　悦子（佐　田）
平成 29 年度 ～平成 29 年 9 月 30 日	鐘築　章惠（出　雲） 〈顧問〉 尾崎　修子（江　津）	板倉　靖子（東出雲） 野田　律子（邑　智）	渡邊　慶子（伯　太） 倉橋　裕子（飯　石） 上田　正子（海　士） 和田智恵美（佐　田）	伊藤　稔子（出　雲） 柳樂　真美（多　伎）	会計 福頼恵美子（東出雲） 書記 杉山　悦子（佐　田）
平成 29 年 10 月 1 日～	板倉　靖子（東出雲） 〈顧問〉 鐘築　章惠（出　雲）	青木　薫代（松　江） 髙木禮爲子（浜　田）	上田　正子（海　士） 中島　和子（鹿　島） 大谷　民子（平　田） 永田　典子（美保関） 野津千洋子（宍　道）		
平成 30 年度	板倉　靖子（東出雲） 〈顧問〉 鐘築　章惠（出　雲）	青木　薫代（松　江） 髙木禮爲子（浜　田）	上田　正子（海　士） 中島　和子（鹿　島） 大谷　民子（平　田） 永田　典子（美保関） 野津千洋子（宍　道）	伊藤　稔子（出　雲） 柳樂　真美（多　伎）	会計 福頼恵美子（東出雲） 書記 安達美紀江（東出雲）
平成 31 年度 (令和元年度)	板倉　靖子（東出雲） 〈顧問〉 鐘築　章惠（出　雲）	青木　薫代（松　江） 髙木禮爲子（浜　田）	上田　正子（海　士） 中島　和子（鹿　島） 大谷　民子（平　田） 永田　典子（美保関） 野津千洋子（宍　道）	伊藤　稔子（出　雲） 柳樂　真美（多　伎）	会計 福頼恵美子（東出雲） 書記 安達美紀江（東出雲）
令和 2 年度	山脇　里美（江　津）	青木　薫代（松　江） 中島　和子（鹿　島）	山崎　光恵（安　来） 杉山　悦子（佐　田） 川上　清子（大　社） 宮川　公子（益　田）	成合　千恵（松　江） 落合美恵子（松　江）	会計 福頼恵美子（東出雲） 書記 安達美紀江（東出雲）
令和 3 年度	山脇　里美（江　津）	青木　薫代（松　江） 中島　和子（鹿　島）	山崎　光恵（安　来） 杉山　悦子（佐　田） 川上　清子（大　社） 宮川　公子（益　田）	成合　千恵（松　江） 落合美恵子（松　江）	会計 今田　昭子（江　津） 書記 安達美紀江（東出雲）

10年のあゆみ
（平成 24年～令和３年）

2012（平成 24 年度）

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；島根県）
＊日本更生保護女性連盟指定事業「地域との連携・協働推進地区」…浜田地区
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加（①）
＊新会員研修　参加者 107 名


①

2013（平成 25 年度）役員改選

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；岡山県）
＊日本更生保護女性連盟指定事業
「地域との連携･協働推進地区」…斐川地区（②）
＊新会員研修　参加者 40 名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊一泊研修　於:ツインリーブスホテル（出雲市）
＊新会員研修　参加者 40 名



②

2014（平成 26 年度）

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；広島県）
＊新会員研修　参加者 75 名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第１号発刊（③）
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加



③

2015（平成 27 年度）役員改選

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；山口県）
＊日本更生保護女性連盟指定事業「地域との連携・協働推進地区」…邑智地区
＊新会員研修　参加者 76 名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第２号発刊
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊一泊研修　於:ツインリーブスホテル（出雲市）（④）



④

世の中の出来事

- 東京スカイツリー開業
- ノーベル生理学・医学賞
  山中伸弥氏受賞
- ロンドン夏季五輪開催
- 2020 東京夏季五輪招致決定
- 富士山　世界文化遺産に
- 消費税率８％に
- 中国で「PM2.5」汚染
- 錦織圭選手全米オープンテニス 準優勝
- ソチ冬季五輪開催
  フィギュア羽生結弦選手金メダル 獲得
- 御嶽山噴火
- ノーベル物理学賞
  赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏受賞
- 戦後 70 年
- 北陸新幹線開業
- ノーベル医学生理学賞
  大村智氏受賞
- ノーベル物理学賞
  梶田隆章氏受賞

2016（平成 28 年度）

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；鳥取県）
＊新会員研修　参加者 94 名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第 3 号発刊
＊「更生保護事業関係者顕彰式典」
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊「三種類の紙芝居」全地区に配布（⑤）
＊三者連携研修会　参加者 36 名



⑤

世の中の出来事

・天皇陛下「生前退位」のお気持ち表明
・ノーベル医学生理学賞大隅良典氏受賞
・リオ夏季五輪開催
男子 400 m リレー銀メダル獲得
・熊本地震災害

2017（平成 29 年度）役員改選

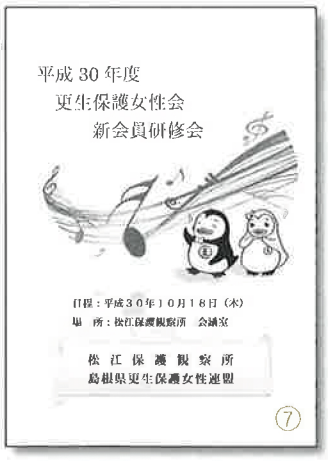
＊日本更生保護女性連盟指定事業「地域との連携・協働推進地区」…平田地区
＊中国地区更生保護女性連盟研修（当番県として出雲市にて開催。県連一泊研修を兼ねる）（⑥）
＊新会員研修　参加者 69 名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第 4 号発刊
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊三者連携研修会　参加者 20 名

・将棋 14 歳棋士藤井聡太 4 段最年少で 29 連勝達成
・陸上桐生祥秀選手 100M 9 秒台達成


⑥

2018（平成 30 年度）

＊日本更生保護女性連盟指定事業「地域との連携・協働推進地区」…益田地区
＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；岡山県）
＊新会員研修　参加者 34 名（⑦）
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第 5 号発刊
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊三者連携研修会　参加者 24 名


平成 30 年度
更生保護女性会
新会員研修会
日程：平成３０年１０月１８日（木）
場　所：松江保護観察所　会議室
松江保護観察所
島根県更生保護女性連盟
⑦

・西日本豪雨災害
・平昌冬季五輪開催
フィギュア羽生結弦選手連覇
・大坂なおみ選手全米オープンテニス優勝（４大大会日本人初）
・北海道胆振東部地震

2019（平成31年度・令和元年度《5月1日より》）

＊中国地区更生保護女性連盟研修（於；広島県）
＊更生保護制度施行70周年記念式典（⑧）
＊新会員研修　参加者22名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第6号発刊
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊日帰り研修　於:サンラポーむらくも（松江市）
＊三者連携研修会　参加者17名


⑧

世の中の出来事

- 新元号「令和」に決定
- 令和天皇陛下即位
- 消費税率10％に
- 東日本台風大雨被害

2020（令和2年度）　役員改選

＊第1回理事会…新型コロナウイルス感染症拡大により文書表決に
＊中国地区更生保護女性連盟研修…新型コロナウイルス感染症拡大により中止
＊新会員研修　参加人数12名
＊愛の図書贈呈
＊人権・同和問題を考える女性の集い
＊「更女しまね」第7号発刊
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊三者連携研修会…新型コロナウイルス感染症拡大により中止
＊コロナ禍での取り組み（⑨）


⑨

- 中国で新型肺炎発生
- 新型コロナウイルス感染症拡大により
  - ・全国小中高校に休校要請
  - ・東京五輪延期決定
- 大坂なおみ選手全米オープンテニス優勝（2回目）

2021（令和3年度）

＊第1回理事会…新型コロナウイルス感染症拡大により文書表決に
＊中国地区更生保護女性連盟研修…新型コロナウイルス感染症拡大により中止
＊新会員研修…新型コロナウイルス感染拡大により中止（資料送付のみ：81名）
＊愛の図書贈呈（⑩）
＊人権・同和問題を考える女性の集い…新型コロナウイルス感染症拡大により中止
＊「更女しまね」第8号発刊
＊「結成60周年記念事業」…式典は新型コロナウイルス感染拡大により中止
＊更生保護事業関係者顕彰式典
＊「社会を明るくする運動強調月間」参加
＊三者連携研修会…新型コロナウイルス感染拡大により中止


⑩

- 新型コロナウイルス感染症拡大により
  - ・東京夏季五輪無観客にて開催
- 愛子内親王成年皇族に
- 東日本大震災から10年
- 米国大リーグ
  大谷翔平選手MVP受賞
- ノーベル物理学賞
  眞鍋淑郎氏受賞
- マスターズゴルフ
  松山英樹　日本人初優勝

更女しまね

第8号　2022. 5. 1　島根県更生保護女性連盟　松江保護観察所内　TEL（0852）21-3767

更女しまね第１号から第７号までの表紙写真


国宝 出雲大社 本殿（第1号）


国宝 松江城天守を望む（第2号）


「シロイルカ 島根県立しまね海洋館アクアス 幸せのバブルリング®」（第3号）


隠岐国分寺蓮華会舞（第4号）


隠岐国賀海岸（第4号）



ありがとう三江線（第５号）
三江線は、島根県江津市と広島県三次市を結ぶJR西日本の鉄道でした。惜まれながら今年４月１日廃線になりました。江の川に沿って急峻な山間を走る車窓からの景色は、四季の移ろいを心に染み入る美しさで語りかけてくれました。





ホーランエンヤ（第６号）
ホーランエンヤは松江市で行われる城山稲荷神社の式年神幸祭の通称です。大阪府の天神祭り、広島県の厳島神社の管弦祭と共に日本三大船神事の一つとされ、10年に一度行われます。総数100隻以上に及ぶ豪華絢爛たる伝馬船大船行列は壮大であり、櫂伝馬船での華麗な「櫂伝馬船踊り」は松江市指定無形民俗文化財に指定されております。





石見神楽について（第７号）
令和元年５月20日（月）石見神楽の里：江津市浜田市をはじめ石見９市町を舞台とするストーリー「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」が文化庁により日本遺産に認定されました。



“こころ一つに…”～地域の活動～

安来地区　山﨑　光恵

私たちはコロナ禍の中、例年の活動が出来ず、昨年は会員手作りの布マスクを施設に寄贈しました。今年度は感染症対策を徹底の中、総会と研修会を行うことが出来ました。



広瀬地区　岡崎　憲枝

「新型コロナウイルス」が世界を駆け巡り、三度目のお正月でした。

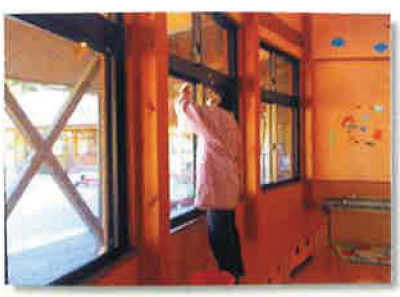
生活・環境は一変し、例年開催していた催しは全て中止が続いています。

更女の会とて同様。誰もが集まる総会も紙面総会で済ませました。会員同士の顔を合わせる機会がなかったことで、今まで繋がっていたきずなが立ち消えないようにと言う思いも加わって「愛の募金」だけは感染に万全をきして果してきました。支部によっては、地元の子どもに読み聞かせを行ったところもありました。細々ですが絶やさず繋がりを保っています。

従来の形態で開催できるようになる事を願っています。

伯太地区　為国　　角

私達更女の活動は主に「愛の募金」。地区内の小・中学校、こども園に図書費の補助として贈っています。下校時の見守りと、保育所の窓掃除です。早く前のような活動の出来る日を願っています。



松江地区　青木　薫代

コラージュ研修会

松江更女は「しらふじ」の入所者と毎月コラージュを通し交流をしてきました。コロナの為出来なくなり、改めて専門の先生を招き支部長と観察所、しらふじ合同のコラージュ研修会を開きました。（令和３年 11 月より交流再開）



東出雲地区　板倉　靖子

新型コロナ感染症の蔓延で、活動を休止せざるを得なかった 2020 年。2021 年は感染対策をしながら、少しずつ再開した活動。保護司さんと一緒に揖屋駅周辺のパトロールを行いました。



美保関地区　小川久美子

我が町は半島に小集落が点在していて、過疎と高齢化で新しい会員も増えません。募金は頑張って続けています。コロナが落着いたら皆で集まって対策会議を開きたいと思っています。

島根地区　小川美知子

地域団体との連携協働活動として、校門やスクールバス停で「あいさつ運動」を行っている。また、更生保護施設「しらふじ」への衣料・日用品の寄贈を行い、立ち直りへの支援の輪を広げている。



鹿島地区　中島　和子

PR 活動を重点目標に

町民文化祭の折に、更女の活動をパネルにして、展示。併せて、手芸コーナーを設け、無料でミニモップづくりを行った。親子づれでにぎわい、話がはずみ、一緒に楽しむことが出来た。更にPR ビデオを流し、観賞していただいた。





八雲地区　堀江　久世

八雲更女は愛の募金活動の他、少年育成会員として挨拶運動や、校庭の芝生実行委員会として補植活動をしています。

文化祭では更女活動の紹介や、会員が持ち寄った絵本等の古本を販売しています。代金は募金箱に入れてもらい、「愛の図書」の一部にしています。



八束地区　渡部天津子

絵本の読み聞かせ

八束地区の更生保護女性会は八束保育園へ読み聞かせに行っています。第２週目の火曜日に４人から５人で訪園しています。読み聞かせの名前は「お話しポケット」です。訪園するとお話しポケットさんと大きな声で声かけしてもらってます。先生方から園児達がこの日を楽しみにしていますと言って下さいます。お部屋にお邪魔すると行儀良く待っていてくれます。読み聞かせの間は静かに聞いてくれます。読み聞かせが終ると歌を聞かせてくれ、お部屋を出る時にはにぎやかに送ってくれます。園児達が笑顔で待ってくれる姿をみると嬉しいです。又、次の日も顔を見に行こうと心が弾みます。



玉湯地区　板谷　裕子

会員数は 12 名ばかりですが、「愛の図書」寄贈運動は、設立当初より会員一同で頑張っています。

公民館と一体となり、社明運動を始め青少協、社協、人推協などの活動をしています。



宍道地区　野津千洋子

コロナ禍で活動が制限される中、私たちはタオル、バスタオルを地元の幼保園に寄贈する活動をしました。会員の皆様のご協力によりたくさんの品が集まり、幼保園にも喜んで頂きました。





大仁地区　藤原美紀子

コロナ禍で募金も全体研修会も断念した。この機に原点に返って活動を見直し、地域で少人数でもできる事を考えた。苗を持ち寄り地元駅ホームを花々で彩るなどの活動を行い、会員増にも繋がった。



飯石地区　前田　榮子

我が更女は、令和元年に60周年を迎えました。総会の資料に合わせ10年の歴史を綴りました。時代も移り維持することの難しさを感じています。

平田地区　大谷　民子

平田地区更女は、保護司会や、民生児童委員協議会、地区社会福祉協議会等との連携した活動が増えました。

その結果、子育て支援活動、研修会等共催事業として取り組んでいます。



出雲地区　嘉藤　馥美

市内72校、園への図書券贈呈の他には主に16の地区ごとの独自活動を展開している。①校園訪問（登下校見守り、読み聞かせ等）②子供会開催（雛祭・月見等伝統行事、体験学習）③介護施設等への奉仕



斐川地区　江角　佳子

地区全体の活動を控える中、７支部ではそれぞれシトラスリボン作りと配布、また会員が集めた日用品をフードドライブとして地区社協に役立ててもらうよう持参するなど、コロナ禍での人権・生活に少しでも役立つよう支部活動を進めました。





佐田地区　杉山　悦子

更女の精神に則り、新規の活動も継続している活動も「何の為に、誰の為に」を常に確認し、活動しています。子育て支援活動（標語掲示、紙芝居、見守り活動等）更生保護活動（支援物資寄贈等）



多伎地区　柳樂　利子

保護司と共催で「幸せに暮らすために『ＳＤＧｓ』ってなんのこと」と題して、地域の多くの皆さまを対象に講演会の実施。

更生保護施設「しらふじ」を訪問し、更生保護事業について学ぶ。



大社地区　川上　清子

子育て支援を軸に手作り玩具の制作、小学校でのミシン学習の補助、児童の自主トレセンの見守り等を行い、コミセンや保護者、地域団体との協働活動を継続。日帰り研修旅行を実施。会員相互の学習・親睦を図る。



邑智地区　富永冨久恵

６月11日、コロナ禍の中、万全を期して、総会並びに上谷淳子保護観察官による講演を拝聴し研修を行なった。又、紙テープで籠を編み販売して活動資金を得たり、愛の募金活動を行ったりした。



江津地区　山脇　里美

おそろいの新調のエプロンを身に着け子育て支援に出向きました。コロナ感染症の収束を願い、江津市内全中学校でシトラスリボン指導をしました。各学校の生徒からお礼状も届き、会員のモチベーションアップにもなりました。





浜田地区　髙木禮爲子

平成19年3月“ふくろうのぬいぐるみ”を島根あさひ社会復帰促進センターに謹呈。釈放時にセンター長殿が渡される。心の支えとして持ち歩き、自分を戒めていると聞いている。ふくろうは「知恵の神」「幸福を運ぶ神」と言われ、更生の支援になればと願っている。



令和3年末までに8,492個謹呈。

鹿足地区　中村　俊子

令和3年12月8日（水）、津和野町連婦主催の防災学習会に更女も参加しました。炊き出し訓練では、ハイベックス袋詰の避難食作りを、日原中学生、婦人会、更女、自治会の老若男女が取り組みました。協力、親睦と、さらに絆が深まった研修会となりました。





益田地区　宮川　公子

4者合同研修会開催

益田地区保護司会・益田地区協力雇用主会
鹿足地区更生保護女性会・益田市更生保護女性会

島根あさひ社会復帰促進センターを題材とした「プリズンサークル」を視聴した。



隠岐の島地区　佐々木幸子

主な活動は募金活動。募金の一部を保小中学校へ愛の図書券として寄贈し福祉施設へ募金贈呈。町主催イベントに出店し売上げは募金へ。チャリティー余芸大会に劇踊りで参加。ベルマーク収集活動等。



海士地区　上田　正子

海士町更女は平成11年、16名の会員で発足以来、現在48名の会員が愛の募金を主に活動をしています。地域での認知度も高まり毎年50万円以上の募金を集め保育所、学校へ寄贈し喜ばれています。



令和３年度 受彰おめでとうございます

令和３年６月８日（火）に有楽町朝日ホールで行われる予定の第58回“日本更生保護女性の集い”は、コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。法務大臣感謝状・日本更生保護女性連盟会長表彰贈呈は行われず、11月19日（金）に松江市のくにびきメッセで開催されました「令和３年度島根県更生保護事業関係者顕彰式典」にて授与・伝達が行われました。また、同式典にて中国地方更生保護委員長感謝状・中国地方更生保護女性連盟会長表彰・松江保護観察所長感謝状の授与が県代表各一名に授与されました。

令和３年度被表彰者

賞状

法務大臣感謝状

渡部　房子（八束地区）

福田　瑞枝（安来地区）

賞状

日本更生保護女性連盟会長表彰

中村　弘恵（松江地区）

飯塚　順子（斐川地区）

濱松　妙子（浜田地区）

杤畠智勢子（益田地区）

○中国地方更生保護委員会委員長感謝状　23名
○中国地方更生保護女性連盟会長表彰　28名
○松江保護観察所長感謝状　146名

60周年記念誌編集を終えて

島根県更生保護女性連盟結成60周年を迎え、記念誌を発刊できましたことに編集委員一同感謝の気持ちでいっぱいでございます。感染症対策をして企画されました記念式典も中止せざるを得なくなり、また世界中で起こっている様々な事象には胸が張り裂けんばかりの思いの日々を送っています。

その中にありましても、10年のしっかりとしたあゆみを思い返し、また記念誌の中に入れた県連盟機関紙「更女しまね８号」では、どんな状況でも出来る事を探して地域で活動をしていらっしゃる会員の皆様の熱意を感じました。

記念誌発刊に祝辞をくださいました日本更生保護女性連盟会長、島根県知事を始め多数の皆様とご協力くださいました島根保護観察協会、松江保護観察所の皆様に厚くお礼申しあげます。

編集委員長　江角　佳子

編集委員　山脇　里美　板倉　靖子
野津イマ子　樋野　淑美
杉山　悦子　髙木禮爲子

島根県更生保護女性連盟結成60周年記念誌

令和４年５月１日発行

発行者　島根県更生保護女性連盟
会　長　山　脇　里　美

印　刷　松江市北田町248
株式会社 クリアプラス



人はみな、
生かされて
生きてゆく。